資料１

Ｈ２６、２７年度アクションプラン
特定施策レビュー　助言取りまとめ
【農業】（案）

平成２７年３月３０日

地域資源戦略協議事務局

地域資源（農業分野）におけるレビュー対象施策

重点的取組	連携施策名	SIP補完／新たな先導	新規／継続	施策番号	事業期間	概算要求額（百万円）	施策名
競争力の源泉となる高機能・高付加価値農林水産物の開発	有用遺伝子情報等の共有による新たな育種体系の確率の迅速化	SIP補完	継続	地・農03	H24－H29	5,846の内数	ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発
		SIP補完	新規	地・農04	H27－H31	110	花きの国際競争力強化に向けた技術の開発
	原料供給から製品の開発・製造までＣＮＦの一貫製造プロセスの構築	新たな先導	新規	地・経03	H27－H31	760	高機能リグノセルロースナノファイバーの一貫製造プロセスと部材化技術開発
		新たな先導	継続	地・農05	H26－H30	2,100の内数	革新的技術創造促進事業
市場と富を拡大する農林水産物の生産・加工・流通ｼｽﾃﾑの高度化	日本の和食文化を維持するためのウナギ種苗の大量生産技術開発の加速化に向けた優良品種の開発	SIP補完	継続	地・農02	H26－H28	350	ウナギ種苗の大量生産システムの実証事業

アクションプラン特定施策レビュー結果

◆概要

- 地域資源（農業分野）における平成27年度アクションプラン特定施策については、平成27年度政府予算案決定に係る計画変更はほとんど見受けられず、微修正のみ。

- 結果として、アクションプラン特定施策レビューについては、“今後の課題”に対する対応方針の関係府省からの説明に対するヒアリングのみ実施した。

助言とりまとめ(案）

①技術開発に関する助言

・各プロジェクト毎に知的財産について戦略的な取組を行うことは、技術開発のテーマの設定等をする際に役に立つ。

・品種については知財権で保護されているが、遺伝資源に関しては、生物多様性条約の中で国家資産として認知されているのに、諸外国と比べて余り守られていないことは残念。

②アクションプラン特定施策の“今後の課題”に対する各省からの対応方針に関する助言

・ＤＮＡマーカー等育種に利用できる情報について、研究組織内部で共有することは非常に有効。なお、育種情報は農業版オープンデータとして公表を求められる可能性もあるので準備はしておいた方がよい。